



# 古賀市記者懇談会（3月）

令和3年3月24日(水)13時30分～  
古賀市役所 応接室 A

朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社、西日本新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社  
FBS、J:COM、KBC、NHK、RKB、TNC、TVQ(50音順)

## ①市内若手農家から子どもが生まれた家庭へお米をプレゼント【P1】

**【古賀市役所】（問い合わせは子育て支援課 足立＝092-942-1515）**

市内で農業を営む渡健一郎さんから、毎月子どもが生まれた家庭5組へ子どもの出生時の体重分のお米を贈りたいとの申し出を受け、子育て支援課が行う乳幼児がいる家庭への全戸訪問事業に併せてお届けすることになりました。

コロナ禍において、誰かの役に立ちたいという市内若手農家の方からの優しい気持ちで、外出もままならない新生児を抱える家庭の支援につながるという大変心温まる提案であり、募集等を行うこととしました。

## ②生理の貧困を抱える女性を支援 生理用品を無料で配布します【P2】

**【古賀市役所】（問い合わせは人権センター 劉＝092-942-1128）**

新型コロナウイルス感染症の影響で経済的困窮が広がる中、金銭的な理由で生理用品を購入できない女性を支援するために、市内公共施設で生理用品を無料配布することとなりました。また市内小中学校の保健室でも配布を希望する児童・生徒に養護教諭から渡します。

## ③「ペットと暮らすシニアの備えサポート」がスタート！

**行政と介護サービス事業者、市民ボランティアが連携した支援体制を構築【P3~4】**

**【古賀市役所】（問い合わせは環境課 吉澤＝092-942-1127）**

超高齢社会となり、体力や認知機能の低下、経済的事情でペットの世話ができない、頼れる家族がおらず、自分にもしものことが起こったらペットはどうすることもできないという高齢者が増えています。古賀市にこのような相談があったときには、事態は深刻化していることも多く、犬や猫に関する業務を行う環境課、高齢者に関する業務を行う地域包括支援センターのどちらかだけで問題を解決することはできません。この問題が深刻化する前に解決していくために、行政に加え、居宅介護支援事業所、市民ボランティアが連携した支援体制で、早期に問題を把握し、解決に取り組む「ペットと暮らすシニアの備えサポート」が始まりました。

## ④外国籍市民等向け 伝わる！使える！つながる！

**多言語生活情報リーフレット「こがとも」完成！【P5】**

**【古賀市役所】（問い合わせはまちづくり推進課 飯尾＝092-942-1165）**

本市の外国籍市民は、9年で約3倍の約900人（令和2年3月末日時点）と年々増加しており、中でも人手不足から、技能実習生の割合が半数を占め（約430人、全体の42.1%）急増している状況にあります。このような中で、外国籍市民等が安心して暮らせるように、直接ニーズを調査したうえで、リーフレットが外国籍市民等に「伝わる」、「使える」、そして人・情報に楽しく「つながる」多言語リーフレットを作成しました。

## ⑤新型コロナワクチン接種のリハーサルを実施【P6】

【古賀市役所】（問い合わせは予防健診課 長崎＝092-942-1151）

新型コロナウイルス感染症の発生及びまん延の予防を目的として、新型コロナワクチン接種開始に向けた準備を進めるため、3月28日にリハーサルを実施します。

本リハーサルは、今後、市で行う集団接種を想定し、接種にかかる一連の流れや、各ブースの所要時間から対流が起きている場所がどこかなどを確認することで事前に課題を洗い出し、接種を希望する市民が安全かつ適切に、また、出来るだけ速やかに接種できる体制整備につなげることを目的としています。

### ■問い合わせ先

古賀市役所経営戦略課 波多江、吉田＝092-942-1346 ✉pr-koho@city.koga.fukuoka.jp

### ●今後の記者懇談会の日程（予定）

- ・4月23日（金）13時30分～ 場所：古賀市役所応接室 A
- ・6月7日（月）13時30分～ 場所：古賀市役所中会議室

## 市内若手農家から子どもが 生まれた家庭へお米をプレゼント

市内で農業を営む渡健一郎さんから、毎月子どもが生まれた家庭5組へ子どもの出生時の体重分のお米を贈りたいとの申し出を受け、子育て支援課が行う乳幼児がいる家庭への全戸訪問事業に併せてお届けすることになりました。

今回は「コロナ禍で大変な時期に生まれた子どもがいる家庭へお米を届けたい」との渡さんからの申し出により実現することとなりました。

コロナ禍において、誰かの役に立ちたいという市内若手農家の方からの優しい気持ちが、外出もままならない新生児を抱える家庭の支援につながるという大変心温まる提案であり、募集等を下記のとおり行うこととしました。

### 記

#### ■ 応募方法

対 象：これから出生届を提出するご家庭

配布物資：お米約3kg（子どもの出生時の体重分・上限4kg）月に5人まで

応募方法：チラシのQRコードから渡農園のLINEへ応募

（応募多数の場合は抽選）

応募期限：赤ちゃん誕生から1か月以内

実施期間：1年間（状況によっては継続）

周知方法：出生届提出時に案内のチラシ（別紙）を配布

配布方法：当選者には乳児全戸訪問事業（生後1か月半～4か月の乳児のいるすべての家庭を訪問）の訪問時に、お米をお届けします。

#### ■ 経 緯

渡健一郎さんは、「コロナ禍で大変な時に出産された方々へ何かしたい」「このまちで生まれてくる子どもたちに、このまちの食材を味わってほしい」などの思いから、今回の事業を思いつき、市議を介して、市へ申し出をいただいたものです。

#### ■ （参考）これまで市物資等の支援をいただいたもの

これまで感染対策として、消毒液、マスク、医療物資、啓発パネル、検温サーモカメラなど、また、応援物資として、清涼飲料水、入浴剤、お菓子などを頂いております。

頂いた物資につきましては、マッチングを検討した上、必要な方に配布するなど活用させていただいております。

#### 【問い合わせ先】

古賀市役所 保健福祉部 子育て支援課

担当：足立 電話：092-942-1515

## 生理の貧困を抱える女性を支援 生理用品を無料で配布します

新型コロナウイルス感染症の影響で経済的困窮が広がる中、金銭的な理由で生理用品を購入できない女性を支援するために、市内公共施設で生理用品を無料配布することとなりました。

また市内小中学校の保健室でも配布を希望する児童・生徒に養護教諭から渡します。

### ■配布開始

3月26日（金）から

### ■配布場所等

場所	数量	配布時間
人権センター (市役所第2庁舎1階)	100パック	8時30分～17時 (土日・祝を除く)
古賀市社会福祉協議会 (サンコスモ古賀内)	50パック	8時30分～17時 (土日・祝を除く)
米多比児童館	10パック	10時～17時(月・祝を除く)
千鳥児童センター	20パック	10時～20時(月・祝を除く)
ししぶ児童センター	20パック	10時～20時(火・祝を除く)
市内小学校(8ヶ所)	各25パック	
市内中学校(3ヶ所)	各50パック	

### ■配布内容

生理用ナプキン：約30個入り1パック

### ■配布方法

配布窓口に設置した専用カードを提示することで配布

本人証明等の提示は必要なし

### 【問い合わせ先】

古賀市役所 人権センター 男女共同参画・多様性推進係

担当：劉・山鹿

電話：092-942-1128

## 「ペットと暮らすシニアの備えサポート」がスタート！ 行政（環境衛生・高齢者福祉部門）と介護サービス事業者、 市民ボランティアが連携した支援体制を構築

超高齢社会となり、体力や認知機能の低下、経済的事情でペットの世話ができない、頼れる家族がおらず、自分にもしものことが起こったらペットはどうすることもできないという高齢者が増えています。

古賀市にこのような相談があったときには、事態は深刻化していることも多く、犬や猫に関する業務を行う環境課、高齢者に関する業務を行う地域包括支援センターのどちらかだけで問題を解決することはできません。

問題が深刻化する前に解決していくために、環境課と地域包括支援センターに加え、居宅介護支援事業所、市民ボランティアが連携した支援体制で、早期に問題を把握し、解決に取り組む「ペットと暮らすシニアの備えサポート」が始まりました。

### ■ ペットと暮らす高齢者からの相談への対応

これまでは環境課と地域包括支援センターがそれぞれで対応することが多かった高齢者が飼育するペットの問題ですが、最近では「一人暮らしの高齢者が急に亡くなって、ペットだけが取り残されている」、「飼っているペットの面倒をみてくれる人がいないから、入院できない」など、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所から環境課へ相談があり、連携して対応する事例も増えてきました。

### ■ 関係者が連携し、互いの知識を共有する必要性

古賀市では、高齢者ができる限り住み慣れた地域で、人生の最期まで尊厳を持って自分らしい生活を送ることができるよう、「医療」「介護」「住まい」「生活支援」「介護予防」が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築の更なる推進をめざしています。

しかし、医療関係機関と介護関係機関の連携体制が進む一方、介護関係機関と動物関係機関の連携体制はとり残されたままとなっていました。

「高齢者と動物の問題は大きい」と互いに感じているにも関わらず、介護の関係機関の多くは動物の生態に精通していない、また、動物の関係機関の多くは介護分野には疎いのが現状です。問題が深刻化してから連携しても互いの負担が大きくなるのであれば、問題が深刻化する前に、介護関係機関と動物関係機関が連携をして互いの知識や情報を共有しようと、新たな取組をスタートすることとなりました。

### ■ 「ペットと暮らすシニアの備えサポート」の内容

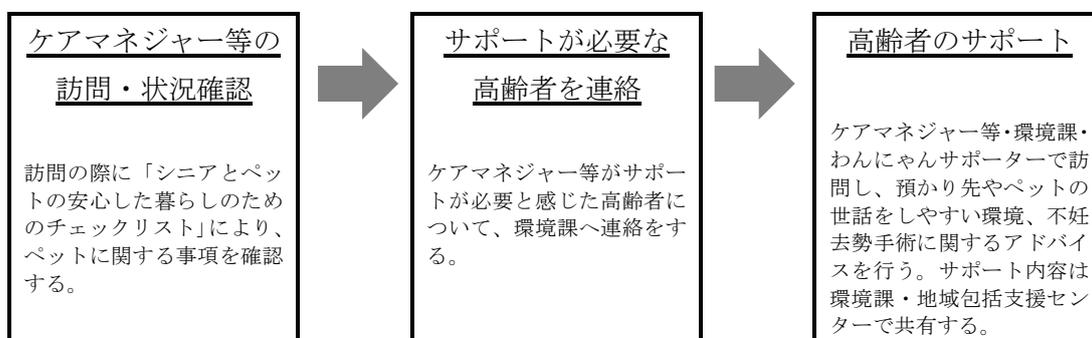
地域包括支援センター、居宅介護支援事業所がペットと暮らす要介護・支援認定の高齢者を訪問する際に、「シニアとペットの安心した暮らしのためのチェックリスト」を作成することで、高齢の飼い主の急な入院や死亡時にペットをどうするかへの対応が

決まっていない、ペットとの生活環境やペットの健康状態が心配される高齢者を早期に把握し、環境課へ連絡します。

地域包括支援センター、居宅介護支援事業所からの連絡を受け、環境課職員が古賀市わんにゃんサポーター（市民ボランティア）と訪問し、ペットの預け先や譲渡先、市内の動物関係事業者の情報提供、世話をしやすい環境づくりなどのアドバイスを行います。

高齢者のペットに関する問題に早期から関わることで、時間の余裕を持って問題を解決することができます。また、問題の深刻化を事前に防ぐことができます。

### ■サポートの流れ



### ■高齢者からの相談の受付

「ペットと暮らすシニアの備えサポート」を開始するにあたり、市ホームページには、ペットと暮らす高齢者が“もしもの時”に備えるためのチェックリストを掲載しています。

高齢者本人からの相談があった場合にも、地域包括支援センターやわんにゃんサポーターと連携して問題解決に取り組んでいきます。

#### 【問い合わせ先】

古賀市役所 環境課 環境整備係  
担当：吉澤 電話：092-942-1127



## 外国籍市民等向け 伝わる！使える！つながる！ 多言語生活情報リーフレット「こがとも」完成！

本市の外国籍市民は、9年で約3倍の約900人（令和2年3月末日時点）と年々増加しており、中でも人手不足から、技能実習生の割合が半数（約430人、全体の42.1%）を占め、急増している状況にあります。

このような中で、外国籍市民等が安心して暮らせるように、直接ニーズを調査したうえで、リーフレットが外国籍市民等に「伝わる」、「使える」、そして人・情報に楽しく「つながる」多言語リーフレットを作成しました。

### ■事業内容など

外国籍市民等（主に技能実習生）の声をもとに、外国籍市民自身が知りたいことや必要な情報を、以下の3部構成および言語で作成しました。

#### 《3部構成》

第1章（古賀市の見どころ、食べ物）古賀海岸、薬王寺温泉、とりすき等

第2章（日常生活）ゴミ出し、自転車ルール、買い物等

第3章（緊急時）防災、避難所、病院等

#### 《多言語対応（5言語）》

英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語

また、福岡県立玄界高等学校の高校生の協力による、分かりやすい医療機関のアイコン作成や古賀市の見どころ紹介の動画作成、古賀市食生活改善推進会の協力による食の紹介など、リーフレット作成には多くの方々のご協力をいただきました。

リーフレット作成のプロセスがまさに多文化共生。皆さんの温かい想いがぎゅっと詰まったリーフレットとなりました。

※この事業は、一般財団法人自治体国際化協会（クレア）の助成事業により実施されています。

### ■配布場所など

古賀市役所 市民国保課（転入窓口）、リーパスプラザこが、

市内46行政区、市内企業、日本語交流（学習者）ほか

※古賀市ホームページにも掲載

### ■制作：古賀市まちづくり推進課国際交流・多文化共生係

### ★「こがとも」への想い★

古賀市の多文化共生⇒古賀市で共に⇒こがとも

古賀の友だちのように親しみやすい存在に⇒こがとも

楽しくて役立つリーフレットに…そんな思いで名前を付けました。

#### 【問い合わせ先】

古賀市役所 まちづくり推進課 国際交流・多文化共生係  
担当：飯尾・渋田 電話：092-942-1165

## 新型コロナワクチン接種のリハーサルを実施

新型コロナウイルス感染症の発生及びまん延の予防を目的として、新型コロナワクチン接種開始に向けた準備を進めるため、3月28日にリハーサルを実施します。

本リハーサルは、今後、市で行う集団接種を想定し、接種にかかる一連の流れや、各ブースの所要時間から滞留が起きている場所がどこかなどを確認することで事前に課題を洗い出し、接種を希望する市民が安全かつ適切に、また、出来るだけ速やかに接種できる体制整備につなげることを目的としています。

### ■リハーサル実施概要

開催日時 3月28日（日） 14時開始

開催場所 古賀市保健福祉総合センター サンコスモ古賀1階  
福岡県古賀市庄205 電話：092-942-1151

訓練参加者・主な役割

医師 （10人程度 予診票確認・接種）

看護師 （10人程度 薬液準備・予診及び接種補助・状態観察）

市職員等 （30人程度 事務従事）

市職員 （40人程度 市民役）

※予診3ライン、接種2ラインの時間当たり1ライン20人接種での訓練を予定しています。

### ■記者の皆さまへ

- ・当日は13時45分から記者向けに接種フローなどの簡単な説明を行います。
- ・リハーサルは課題の洗い出しを主な目的としているため、一般市民の参加はありません。
- ・混乱を避けるため、接種訓練中の声かけによる取材等は、ご遠慮願います。

#### 【問い合わせ先】

古賀市役所 保健福祉部 予防健診課

担当：長崎 電話：092-942-1151